

さいたま市 東日本の中枢へ

誕生から四半世紀・未来向け挑戦



さいたま商工会議所会頭 川本 武彦氏

画更と土地区画整理組合の設立認可がなされ、造成工事に着手した。首都高北伸・清和寺北地区(西区)は首都高の延伸工事の進捗を注視しつつ事業化に向けた検討を進めている。田島地区(南区)は地元協議会が立ち上がり、まちづくりを検討中。さらに24年度に新たに位置付けを行った4地区は事業実施に向けた詳細検討を行っている。

生産性向上へAI・DX活用支援を強化

「産業分野は少子高齢化に伴う熟練工の不足が深刻であり、若者の製造業離れも根深い。一方で医療やヘルスケア関連などの成長分野に若者が関心を示す傾向もあり、こ

埼玉県の間県所在地さいたま市は、5月に誕生25周年を迎える。2001年に浦和、大宮、与野の3市が合併してスタート。03年に政令指定都市へ移行し、05年には岩槻市と合併した。「東日本の中枢都市」「上質な生活都市」を将来都市像に掲げ、26年度予算では未来技術と中小企業の競争力強化などを経済分野の重点施策と位置付ける。清水勇人市長と昨年就任したさいたま商工会議所の川本武彦会頭に市の未来を語ってもらった。

「頭頭就任の抱負をお願いします。」
「池田一義前会頭が進めてきた企業支援の方向性を継承しながらさらに強化する。会員が商工会議所に入ってきたこと、当会議所は会員数1万2000社を誇り、全国に515ある商工会議所の中で8番目の規模を持つ。大きな組織力を背景に、事務局を含めて総力を上げて地域企業の発展に尽くす。伴走型支援の幅を広げ、より充実させていく決意だ。」
「会員企業の景況感と今年の見通しは。」
「最新アンケートによると、売上高は値上げの浸透もあり好調という声が多い。一方で原材料高などのコスト増が利益を圧迫しており、売上高と

地域企業の発展へ伴走型支援拡充

比べると利益の伸びは少ないという課題を抱えている。価格転嫁が進みつつあるが、取引先への懸念から声を上げられず、転嫁できていない企業も一部に存在するのが実情だ。米国による関税措置の影響は、現時点では限定的と見ている。今年も深刻化する人手不足が最大の懸念事項だ。一方で街のにぎわいなどを見ると景気自体は上向いていると感じる。この状況下で企業が成長していくためには、DXによる生産性向上が不可欠。今後は成果が問われる。会員企業が抱える課題と将来展望をどう見ているか。」
「工業分野は少子高齢化に伴う熟練工の不足が深刻であり、若者の製造業離れも根深い。一方で医療やヘルスケア関連などの成長分野に若者が関心を示す傾向もあり、こ

「浦和インターチェンジ西側地区(緑区)は25年に物流2社が竣工し、供用を開始した。吉野原工業団地東側地区(北区)は地権者の合意形成に向け取り組んでいる。川通地区(宮城野区)は地権者による準備組織が中心となり、各種協議を実施中。首都高北伸・宮前地区(西区)は25年に市街化区域への編入を含めた都市計



さいたま市長 清水 勇人氏

「副業人材活用イノベーション事業」の成果は、「ブランドینگ」は5社を支援。主な成果として食品の製造・販売を行う会社の看板商品の売り上げ・認知向上に向け、ブランドロゴの作成、コンセプトに沿ったPR動画の作成を支援した。高付加価値サービス創出はフ

五感で感じる「さいたま市らしさ」発信

「長きにわたる日本各地の生活インフラを支えるだけでなく、海外事業拡大を進められるなど、グローバルな視点も持たれており強い存在。会議所にも市の魅力や地域のにぎわい創出に向けた事業に力添えいただいている。引き続き「さいたま市みんなのアプリ」の普及を通じた地域内経済の循環と活性化をはじめとした綿密な連携をお願いしたい。」

ワークショップを中心とした新事業計画の作成に関する個別支援を4社、またオンラインバーションによる新商品・サービス開発に係る補助金を別に4件交付した。副業・兼業人材活用では人材マッチングを10件行った「リーディングエッジ」とSDGsの企業認証制度については、「リーディングエッジ」26年度1月1日現在の認証企業数は33社。今年度は小山工業高等専門学校と連携して、認証企業が技術を紹介するイベントを初めて実施した。来年度以降も引き続き、理工系大学や高専生の採用強化に取り組み。SDGsは現在329社認証している。26年度は認証企業同士の連携により、地域経済の持続可能な発展や社会課題の解決につながる取り組みを推進したい。」
「新市庁舎計画とは別に街区内に整備する民間機能について。」
「導入機能としてはオフィス、商業、宿泊を基本とし、公費をベースとした方式提案書により整備する事業者を選定する予定。26年度には事業者の公募を開始し、事業者選定を行う。」
「さいたま商工会議所の新会頭に川本武彦サイサン会長が就任しました。」

「できた!」の積み重ねがやがて新しいイノベーションを生み出すのだと思う。つぎの「できた!」にチャレンジしよう!

「成功の反対は、失敗じゃない。チャレンジしないことだと思う。」

K25-01709 [2510-2609]

さいたま医療ものづくり都市構想

製造技術と臨床現場が融合するものづくり都市の創造

- 国内展示会・医学会への共同出展
- 開発・商品化の支援
- 海外展示会への共同出展
- コーディネータによるマッチング
- 医工連携アドバイザーボード

詳細はこちらから

さいたま市産業創造財団

Tel : 048-851-6652
Mail : iryou@sozo-saitama.or.jp

ヤシマが灯す、今までもこれからも。

地元で愛されて創業80年

八洲電業社

太陽光発電設備工事 情報通信工事 消防防災設備工事
発電事業 保守メンテナンス 電気設備工事

株式会社 八洲電業社

さいたま市北区日進町3-37-1 ☎048-663-3361
http://www.yashima-denyosha.co.jp
ISO9001・14001・45001 認証取得

2024年~2026年 活動スローガン

「変革の舞台を共に歩み新たな未来を切り拓こう!」
~自己変革へのチャレンジで確かな成長による地域経済好循環を実現~

さいたま商工会議所

https://www.saitamacci.or.jp

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-17-15
TEL 048-838-7700

経営のボタンタッチのお悩みは

埼玉県事業承継・引継ぎ支援センター

にご相談ください

相談無料! 秘密厳守!

事業の存続に関する様々な課題の解決を支援する公的相談窓口として、専門家が秘密厳守で相談対応・アドバイスをを行います。

埼玉県 事業承継・引継ぎ支援センター

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-17-15 (さいたま商工会議所会館4階)
TEL : 048-711-6326 FAX : 048-711-6378
hikitsugisaitama@vesta.ocn.ne.jp

活発な再開発・沿線価値向上

立地・鉄道網に優れる政令市

さいたま市内では大宮駅や浦和駅周辺で再開発事業が活発に進められています。

「大宮駅西口では2023年に二つの大きなオフィスビルがオープンした。『大宮ソラミチKOB』は3階建ての中規模テナントオフィスビル。また『アドグレイス大宮』は22階建てでオフィスやホテル、店舗などの複合施設。いずれも満室稼働の状況と聞いています。東京都内のオフィスの空室率は『低位安定』の状況が続いており、埼玉県内でも連動してオフィス需要は好調だ。他にも駅西口では、さいたま市の桜木駐車場用地活用事業で、商業棟やオフィス棟など5棟で構成する複合施設が2027年春に

さいたま市は「住みたい街」の調査で常に上位に位置し、新幹線を含む鉄道網の充実によりビジネス面でも優位性を誇る。駅を起点としたにぎわい創出や沿線価値の向上が、持続可能な都市形成を実現する上で鍵を握っている。さいたま市を含め埼玉県を地盤とする大栄不動産の小林善信社長と、埼玉県内などの路線や駅を管轄するJR東日本の石井剛史執行役員大宮支社長に、さいたま市の街づくりや鉄道を中心とした地域活性化などについて聞いた。

JR東日本の中で、大宮エリアはどのような位置付けですか。 「5方面の新幹線が結節する大宮駅は、東日本全体を支える交通の要衝だ。広域アクセスの起点であると同時に、沿線人口が増加しており高いポテンシャルを持つ。この強みを生かし、単なる移動の通過点ではなくビジネスや商業が循環する中核拠点としての機能を最大化させたい。鉄道と街が共に発展してきた歴史を糧に、大宮のプレゼンスをさらに高めていく。」

JR東日本大宮支社

大栄不動産

社長 小林 義信氏



完成する予定という。一方で大宮駅東口の状況は。 「当社と三井不動産が参加組合員として参画し、22年に開業した複合施設『大宮門街（かどま）』は、一部の店舗をリニューアルした。スーパースーパーの『七宝麻辣湯（チーパオマラータン）』、コメダ珈琲店の和の喫茶店『おかげ庵』、新業態の『浦和ガーデンビル』が24年に完成して現在は満室稼働の状況と聞いている。同じ駅西口の高砂地区では27階建てのおむすび専門店『米屋の太郎』は、いずれも埼玉初出店だ。メディアにも多く取り上げられて人気で、他テナントの来客数も伸びている。」

525戸のタワーマンションと商業施設、市民会館などで構成する『浦和カルエ』が27年に稼働予定という。 「今後の再開発や不動産事業の課題や将来像をどう捉えていますか。」

建築費高騰を懸念 事業化ハードル高く



22年に開業した「大宮門街」

「事業化のハードルが高くなる状況は続くだろう。一方でオフィスや住宅だけでなく、工場や物流施設などの潜在的な進出ニーズはあるので、どう調整して優先順位を付けていくかが重要になってくる。既存の建物や設備をリニューアルして長く使っていくという取り組みも進んでいくのではないかと。」

潜在ニーズ見極めた開発計画が重要

中核拠点・大宮のプレゼンス向上

の魅力を発信し、鉄道博物館や盆栽村など多くの地域資源への回遊を促す。大宮にステイし、ここをベースに新幹線で東北、上越、北陸方面へ足を延ばす。こうした大宮を起点とした旅行スタイルを確立することで、自治体や地域と共に新たな流動と滞在価値を創出したい。」

「駅は単なる通過点ではなく、地域の魅力を凝縮して発信する情報発信拠点だ。例えば駅から距離のある地元名店に駅構内へ出店していただくことで、利用者には利便性を提供できる。重要なのは駅で買った終わりでなく、そこから実店舗や周辺の街へ足を運んでもらう回遊の流れを作ること。駅を起点ににぎわいを作り地域を元気にして

ビジネスと商業の循環目指す



5方面の新幹線が結節する大宮駅は、東日本全体を支える交通の要衝だ

「大宮支社でのデジタル変革（DX）の取り組みは。 「アバター（分身）による駅案内システムの一部導入など、定型業務の自動化により、社員が創造的な企画業務に注力できる環境を作る。また設備の形状を点群データとして取得し、デジタルツイン上で再現することで設備設計に活用している。最新技術を積極的に現場へ展開し、鉄道の生産性向上とサービス向上を両立させたい。」



since 1950 大栄不動産

検索

大栄不動産は、社会に貢献し、お客様に必要とされる、存在であり続けます

快適な業務空間、生活空間の創造を通じて、法人から個人まで不動産のあらゆるニーズにスピーディーにお応えするため、ビル賃貸事業・駐車場事業・住宅事業・不動産営業事業・有料老人ホーム事業の各部門が伝統ある独自のネットワークと専門機能を発揮して、高品質の商品、サービスを提供しています。

さいたま市では、19棟のビル等を賃貸・管理、5,222台の駐車場を管理し、さいたま支店を拠点に様々なソリューション事業を展開しています。また、大宮駅東口の街づくりプロジェクトである「大門町2丁目中地区」再開発事業に参画し、『大宮門街』として開業以来、地域の皆様に愛される施設づくりに励んでおります。

これからも「社会の発展を支え、よい住まいとよい環境をお届けする」をモットーに新たなフィールドを開拓し続けます。

人と暮らしのこれからに **大栄不動産** ビルの賃貸・管理、不動産の売買・仲介・鑑定、住宅分譲、駐車場の運営・管理、有料老人ホーム運営・管理 本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1丁目1番8号 TEL 03-3244-0625 東京支店 TEL 03-3244-2800 / さいたま支店 TEL 048-647-0992 / 川越支店 TEL 049-246-6156 / パーキング事業部 TEL 048-824-7684

ジェット口埼玉、技術の厚み武器に支援

埼玉の多様な産業 海外へ橋渡し

ジェット口埼玉 貿易情報センター 小泉 勢子 所長に聞く



日本貿易振興機構(JETRO)埼玉貿易情報センターは、県内企業の海外販路開拓や投資誘致を担う国際ビジネス支援の拠点だ。製造業や食品加工業が集積するさいたま市の強みをどう生かす、海外展開を後押しするのか。今後の戦略について小泉勢子所長に聞いた。

■ JETRO埼玉の役割を教えてください。

「現在は輸出支援、投資誘致、スタートアップ海外展開支援、高度外国人材活躍推進等の事業を実施している。単なる販路開拓にとどまらず、国際的な協業連携によるイノベーション創出に注力している。企業のフェーズに合わせ、情報提供から商談マッチング、海外拠点設立等、時代に合わせた支援を柔軟に展開していく」

「最大の強みは、交通の要衝としての利便性だ。都内へのアクセスに加え、東日本への玄関口でもあるため、国際的な展示会への参加、国内外事業者との商談が実施しやすい。産業界では『埼玉にない分野はない』と言えるほど業種の幅が広く、先端産業分野まで確かな技術力が蓄積されている。この厚みこそが、海外企業が提携先として埼玉を選ばず納得感につながっている」

■ イノベーション創出をどのように実現しますか。

「日本企業と海外スタートアップ等との協業連携支援のためのプラットフォーム『J-Bridge』(Jブリッジ)を利用して国際的なオープンイノベーション創出を推進している。市内の中堅企業等も積極的に活用しており、海外スタートアップや研究機関の発掘、面談アレンジなどの支援を通じて、新たな価値創出を後押しする」

■ 独・ニュルンベルク市との経済連携の現況は。

「独・ニュルンベルク市は、2011年に始まったさいたま市と同市の経済連携は、長く強固な関係を維持している。また、さいたま市やさいたま市産業創造財団とも協力しながら、独・バイエルン州とも連携し、25年度はモビリティ分野と航空宇宙分野の二軸で、独スタートアップを招聘し市内企業と引き合わせる。専門家が伴った『ハズオン支援』など、海外展開の助言や電子商取引(EBC)活用など、ニューは多岐にわたる。こうした実務支援に加え、セミナーを通じた情報提供にも注力している。事業を活用して海外ビジネスを進める市内企業が語る取り組み事例は、これから海外展開に向かう企業の背中を強く押すきっかけになるはずだ」

■ 今後の新たな取り組みは。

「急増するインバウンド(訪日外国人)を『旅マエ・旅ナカ・旅アト』と旅行の前後を含めてEBCなどで継続した購入につなげる仕組みを強化したい。県産の食品や日本酒、抹茶、盆栽など、海外で人気の商品が多数ある。この魅力を伝えたい。ジェット口埼玉は開設から6年が経過した。埼玉の技術力と利便性を武器に、一社でも多くの企業に活用してもらい、可能性を広げてほしい」

オープンイノベーション創出を推進



「2011年に始まったさいたま市と同市の経済連携は、長く強固な関係を維持している。また、さいたま市やさいたま市産業創造財団とも協力しながら、独・バイエルン州とも連携し、25年度はモビリティ分野と航空宇宙分野の二軸で、独スタートアップを招聘し市内企業と引き合わせる。専門家が伴った『ハズオン支援』など、海外展開の助言や電子商取引(EBC)活用など、ニューは多岐にわたる。こうした実務支援に加え、セミナーを通じた情報提供にも注力している。事業を活用して海外ビジネスを進める市内企業が語る取り組み事例は、これから海外展開に向かう企業の背中を強く押すきっかけになるはずだ」

「2011年に始まったさいたま市と同市の経済連携は、長く強固な関係を維持している。また、さいたま市やさいたま市産業創造財団とも協力しながら、独・バイエルン州とも連携し、25年度はモビリティ分野と航空宇宙分野の二軸で、独スタートアップを招聘し市内企業と引き合わせる。専門家が伴った『ハズオン支援』など、海外展開の助言や電子商取引(EBC)活用など、ニューは多岐にわたる。こうした実務支援に加え、セミナーを通じた情報提供にも注力している。事業を活用して海外ビジネスを進める市内企業が語る取り組み事例は、これから海外展開に向かう企業の背中を強く押すきっかけになるはずだ」



JR大宮駅西口から徒歩5分の好立地にある「ジェット口埼玉」

リーディングエッジ企業認証制度 — さいたま市

企業の技術力と国際競争力を一層強化

リーディングエッジ企業認証制度は、さいたま市内のモノづくり企業の中でも、獨創性や革新性に優れた技術を持つ企業を認証し、グローバルニッチトップ企業へのスタートアップを支援する。企業の技術力と国際競争力の一層の強化を通して、市産業全体の活性化を推進する。



25年度の認証式

市が認証することで、認証企業の信頼性や知名度の向上を図り、イノベーション創出を促進。持続的な成長につなげる。さいたま市産業創造財団とも連携。認証企業との関係性を生かし、各社の課題に応じたオーダーメイド型の支援をタイムリーに提供できる。

2025年度は、新規で認証されたDICプラスチック(さいたま市大宮区)を含む10社を認証。26年1月1日現在の認証企業数は33社となった。



小山高専で開いたイベント

リーディングエッジ企業が技術を紹介するイベントを初めて実施した。栃木県小山市の小山高専を認証企業12社が訪問し、電気電子創造工学科の4年生生へ自社の技術や製品を説明した。学生に仕事や業界への理解を深めてもらうため、リアプログラムの一環として開催した。企業側は技術や人事関連の担当者らがプレゼンテーション、フットウェアを使ったり、持ち込んだりし、学生に熱弁。小山高専の卒業生が同席



社長自らが学生に熱弁

したり、トップが説明者として参加した企業もあった。市は来年度以降も引き続き、理工系大学や高専生の採用強化に取り組む予定で、小山高専に加え、他の高専とも連携を進める。政府はAI・半導体、航空・宇宙など高付加価値分野への成長投資を推進する。高い技術力を背景に当該分野へ進出している認証企業へ進出の支援も、市の新規参入・事業拡大を志向する企業を支援し、新たな企業収益の柱を育てていくよう取り組む。

独創で 独走する。

小さな部品が ハイテク機器の 心臓部を支えています。

HEIWA SANGYO CO.LTD 平和産業株式会社

本社 / 埼玉県さいたま市南区文蔵 4-21-11 【総務部】 ☎ 048-861-7401 【営業部】 ☎ 048-864-2231 ■ 技術センター (軽井沢ヒースロン) / 長野県北佐久郡御代田町御代田 4108-400 ☎ 0267-32-6200

Gas One

「Gas One」グループはお客さまにとって最も身近なホーム・エネルギーパートナーです。

株式会社サイサン

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町一丁目 11 番地 5

https://www.saisan.net/ サイサン

技術で世界にサプライズを

さいたま市リーディングエッジ企業

SAITAMA CITY LEADING-EDGE

朝日ラバー	Arad Racing Specialties	Antenna Giken	ASAP as soon as possible	株式会社 オリジン
KANEKO	COSMO RESEARCH	Gofos	KONGO	SCIENCE ワイテック株式会社
Saiden Chemical	SUMICA new glass & fiber optics	SOFTRONICS ソフトロニクス株式会社	takata	TAMRON Focus on the Future
DIC DICプラスチック株式会社	株式会社 テクノスコープ	Tokyo Titanium	仁科工業株式会社 Nishiko Industrial Co., Ltd.	
Nissan 株式会社 日新化成 Nissin Kasei Co.,LTD.	NITTOKU Design the Next	株式会社 日本製衡所 / NIKKO SCALES / Japan	日本電鍍工業株式会社 NIPPON DENTO KOUGYO CO.,LTD.	
HARVES	HASEGAWA	FORVIA faurecia	FUJIKURA COMPOSITES	Bellnix
YAMADA MACHINE TOOL CO.,LTD.	リケンNPR 株式会社	Regina Regina Fashion Supply Co., Ltd.	株式会社 渡辺製作所	

さいたま市では、獨創性及び革新性に優れた技術を有し、市を代表する研究開発型ものづくり企業を「さいたま市リーディングエッジ企業」として認証し、支援しています。

さいたま市経済局商工観光部産業展開推進課 TEL 048-829-1371 FAX 048-829-1944

さいたま市リーディングエッジ 検索 問い合わせはこちら

主な支援: 新技術開発・新事業展開支援, 海外展開・販路拡大支援, 人材確保・人材育成支援, 広報活動・情報発信支援